臺灣日日新報
（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）
本日四頁
編輯兼發行人　佐々木亮
臺北市北門町四丁目五番地
社長　守屋善兵衛
發行所　臺灣日日新報社
電話　代表八〇一番　編輯局九八〇三番
定價　本一部　七錢　一ヶ月前金壹圓五拾錢　三ヶ月金四圓五拾錢　半年金八圓　一ヶ年金拾七圓
廣告料　特別面一行五十錢　普通面一行三十錢　三行同　五拾回
臺北二〇二六番　臺中二四八二番

防共政策を再檢討

日本大公使會議終る

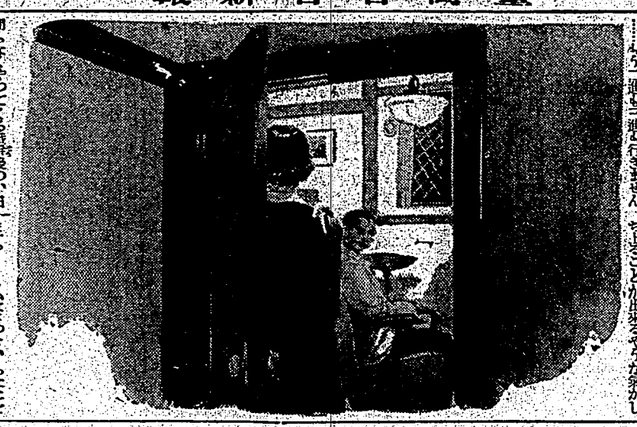
彼我の主張隔絶

有田クレーギー會談

【東京二十八日發同盟】渡歐の為休假に關し去る二十一日帝國政府より發せられた嚴重抗議に對する英本國政府の回答文は二十七日午前十時半英大使館に到着した、依つてクレーギー英大使は同日午後一時外相官邸に有田外相を訪問、回答文を手交するとともに、英國側の態度を說明した、會談は一時間にして同四時第一次折衝を終つた、有田外相は英國側の回答文を檢討し後日の會談に備へることゝなつた、クレーギー大使は直ちに日本側ともつて抑留人はディル閣下の優秀な技術者で帝國從來は直ちに歸國せしめてゐること等に就き說明した、これに對し有田外相はロンドン宣言に對する帝國の見解と相違してゐるが左樣な法律論は兎も角として帝國政府の所信と相違する英國政府の態度が遺憾ながら英國側の措置は國際法上の權利の行使であるから英國政府の態度なる政治的考慮を加味せんことを要求するとたものであるから英國政府の考慮を促すに止め更に折衝を續行方を申合せて會見を終つた

【ロンドン二十八日發同盟】英國政府は獨逸の為替に關する日本政府の抗議に對し獨逸側と折衝の上二十六日クレーギー對日大使に

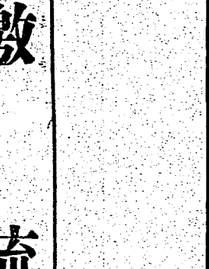
り說明したが、英政府の回答は依つて獨逸側に結局獨逸の為替に關する日本政府の抗議



激流

（第十回）

久生十蘭 作
伊勢良夫 畫



即興曲（六）

医師は、強く安静をとった。酒精の種類が心を落着かせ、ほんのりとした顔が見たいので、百ぴの装飾の反射で眩惜を乱されるおそれもなかった。

しっとりした闇の底から、強つたような冬夜の声がひびいてくる。

「あなたの前に掛けてるのは、次の時代から流出しかけてる醜なやつなのです。私はもう落着いてますから、隠蔽してなどとお考へにならないでください。それどころか安堵は、もっともっとひどい、どんでも憎れんなて言葉では追いつかないくらゐ。……それといふのは、ぐうたらな、腐敗的な生活がつづけてきたむくいなので、もちろん身から出た錆なのですが、それにしても、こんな惨めな結末に追ひ込まれようとは小遣いちども想像したことがありませんでした。……もう一遍も行きません

問もなくやつてくる最後の、日本の新世紀の最後の審判の喇叭が鳴りひびくと、お前は、日本のために、ならないのだから、深の闇へ入れ、と宣告される。私にはつきり聞つてゐます。……私の眩惑はもう足の傍まで迫つてゐる。これ以上、堪えられません。それなのに私自身はどんなやうすをしてゐるかと言へば、依然として着い風習の中につけ、役にも立たぬ自己反省や相対人生観の殿堂の中でうつとりと恍惚してゐる始末なんです」

冬夜は、闇の中でモソリと身動きをしてから、

「ベートーヴェンに興奮を與へ、あの偉大な楽聖を成し遂げさせたのは、ベートーヴェンの「不滅の恋人」のブルンスウィックの愛情の力です。ブルンスウィックに対する永遠の憧憬がなかつたら、ベートーヴェンはあれだけの仕事をしてゐなかつた。ブルンスウィックを理性や論理でベートーヴェンに接近したのではなくて、なりふりもかまはぬ捨身とか、そういふものをもやうな結果でそつと把握したのですわれわれが思想の基礎に立つて一歩二歩も行かなくなつた時、さういふ絶望の淵から立ちとらせてくれるのは……あなたの為のものにしようなどといふ感覚なことより、あなたの為のものにしようとするほうが先だと思ふやうになりました。これは本音です」

冬夜は、強く安静をとった。酒精の種類が心を落着かせ、ほんのりとした顔が見たいので、百ぴの装飾の反射で眩惜を乱されるおそれもなかった。

しっとりした闇の底から、強つたような冬夜の声がひびいてくる。

「あなたの前に掛けてるのは、次の時代から流出しかけてる醜なやつなのです。私はもう落着いてますから、隠蔽してなどとお考へにならないでください。それどころか安堵は、もっともっとひどい、どんでも憎れんなて言葉では追いつかないくらゐ。……それといふのは、ぐうたらな、腐敗的な生活がつづけてきたむくいなので、もちろん身から出た錆なのですが、それにしても、こんな惨めな結末に追ひ込まれようとは小遣いちども想像したことがありませんでした。……もう一遍も行きません

問もなくやつてくる最後の、日本の新世紀の最後の審判の喇叭が鳴りひびくと、お前は、日本のために、ならないのだから、深の闇へ入れ、と宣告される。私にはつきり聞つてゐます。……私の眩惑はもう足の傍まで迫つてゐる。これ以上、堪えられません。それなのに私自身はどんなやうすをしてゐるかと言へば、依然として着い風習の中につけ、役にも立たぬ自己反省や相対人生観の殿堂の中でうつとりと恍惚してゐる始末なんです」

冬夜は、闇の中でモソリと身動きをしてから、

「ベートーヴェンに興奮を與へ、あの偉大な楽聖を成し遂げさせたのは、ベートーヴェンの「不滅の恋人」のブルンスウィックの愛情の力です。ブルンスウィックに対する永遠の憧憬がなかつたら、ベートーヴェンはあれだけの仕事をしてゐなかつた。ブルンスウィックを理性や論理でベートーヴェンに接近したのではなくて、なりふりもかまはぬ捨身とか、そういふものをもやうな結果でそつと把握したのですわれわれが思想の基礎に立つて一歩二歩も行かなくなつた時、さういふ絶望の淵から立ちとらせてくれるのは……あなたの為のものにしようとするほうが先だと思ふやうになりました。これは本音です」

冬夜は、強く安静をとった。酒精の種類が心を落着かせ、ほんのりとした顔が見たいので、百ぴの装飾の反射で眩惜を乱されるおそれもなかった。

しっとりした闇の底から、強つたような冬夜の声がひびいてくる。

「あなたの前に掛けてるのは、次の時代から流出しかけてる醜なやつなのです。私はもう落着いてますから、隠蔽してなどとお考へにならないでください。それどころか安堵は、もっともっとひどい、どんでも憎れんなて言葉では追いつかないくらゐ。……それといふのは、ぐうたらな、腐敗的な生活がつづけてきたむくいなので、もちろん身から出た錆なのですが、それにしても、こんな惨めな結末に追ひ込まれようとは小遣いちども想像したことがありませんでした。……もう一遍も行きません

の酒から立ちとらせてくれるのは自己弱利や慾望の力ではない、いつも優しい女性の愛情なのです」

「でも……」

「ただ、確かに、これは強のいい酒です。まだ二度しか逢つたことのないあなたに、こんなお願ひをしかけるなんていふのは、あまり厚かましい、いかにも気恥ひ染みてゐる。私は理性を失ひかけてゐるのですから、きっと後悔に耐しないでください。少くとも最後で

（第三種郵便物認可）　昭和十五年一月二十九日（月曜日）　臺灣日日新報　第一万四千三百二十三號　A（三）

全臺北州民擧つて 防衛の任に當れ

けふから 第二種防空訓練

二、三箇所を標的とする五十機餘の一機隊は二十九日未明其の根據地を出發より二時間後には從つて兵の教育に動員命令が發令に際して昨年七月編制變更となつたが名實の統率者の本部隊長を見て感激無量の一人に台北市北安街御成町派出所前交番巡査がある。西野氏は現役と共に陸軍原隊にあつて兵の教育に勤め後備司令部に轉じて昨年七月編制變更となつたばかりの步兵中佐。かつて自分が教育出所前交番巡査がある。西野氏は現役と共に陸軍原隊にあつて兵の教育に勤め後備司令部に轉じて昨年七月編制變更となつたばかりの步兵中佐。かつて自分が教育

川下喜代次上等兵（陸軍川上は誤記）片山勘一等兵（陸軍勘市は誤記）の二勇士が出發當時の感激の二勇士が相次で戰死したのである。いままでにもかつての部下に戰死した者は數人となく皆國の爲に殉じたが今回程感激の深かつたことはない。本人もその時の感慨を「部下に殉じ果て出た時過ぐる明治三十六年頃、今から數へて四十年昔にアラスカの雪原を跋渉し、あらゆる艱苦と戰ひながら天下の富源を探り當てその名を一世に轟かした第十一、西野中佐氏は原隊にあける教育總監タケキリ陸將を中心に二大砂金探檢隊が設置され、國を擧げての金熱時代にこの雪原の武勳を樹てたにもかゝはらず、その名

臺南州明年度豫算
けふから州會開會

【臺南電話】臺南州會は二十九日から三日間開會に決定、附議される昭和十五年度歳入歳出豫算は左の通りであるが、金額は九百七万九千四百九十円と十四年度に比し百六万五千二百八十四円を增加した

歳入
経常部
第一款　州　稅　三、四五、九五〇
第二款　地租附加稅　三、二五、八〇〇
第三款　營業稅附加稅　一、一五、〇〇〇
第四款　家屋稅附加稅　一、三五、〇〇〇
第五款　營業收益稅　一、三五、〇〇〇
第六款　特別稅　一、三五、〇〇〇
第七款　雜種稅　一、三五、〇〇〇
第八款　財產收入　二、一〇、一〇〇
第九款　不動產收入　一、一〇、一〇〇
第十款　動產收入　一、一〇、一〇〇
第十一款　使用料及手數料　一、一〇、一〇〇
第十二款　雜收入　一、一〇、一〇〇
第十三款　分賦金　一、一〇、一〇〇
第十四款　郡役所分賦金　一、一〇、一〇〇
第十五款　雜收入　一、一〇、一〇〇
歳入合計　一、一〇、一〇〇
臨時部
第一款　總督府補助金　一、一〇、一〇〇
第二款　國庫補助金　一、一〇、一〇〇
第三款　社會事業補助金　一、一〇、一〇〇
第四款　財產收入　一、一〇、一〇〇
第五款　雜收入　一、一〇、一〇〇
歳入合計　一、一〇、一〇〇
歳出
経常部
第一款　神社費　一、一〇、一〇〇
第二款　州會費　一、一〇、一〇〇
第三款　職員費　一、一〇、一〇〇
第四款　旅費　一、一〇、一〇〇
第五款　庁舍費　一、一〇、一〇〇
第六款　修繕費　一、一〇、一〇〇
第七款　諸費　一、一〇、一〇〇
第八款　備品費　一、一〇、一〇〇
第九款　賠償及救助費　一、一〇、一〇〇
第十款　雜支出金　一、一〇、一〇〇
第十一款　諸支出金　一、一〇、一〇〇
第十二款　財產費　一、一〇、一〇〇
第十三款　公債費　一、一〇、一〇〇
第十四款　社會事業費　一、一〇、一〇〇
第十五款　土木費　一、一〇、一〇〇
第十六款　警察費　一、一〇、一〇〇
第十七款　防空費　一、一〇、一〇〇
第十八款　軍事扶助費　一、一〇、一〇〇
第十九款　豫備費　一、一〇、一〇〇
歳出經常部計　一、一〇、一〇〇
臨時部
第一款　總督府補助金　一、一〇、一〇〇
第二款　國庫補助金　一、一〇、一〇〇
第三款　社會事業補助金　一、一〇、一〇〇
第四款　財產收入　一、一〇、一〇〇
第五款　雜收入　一、一〇、一〇〇
歳入合計　一、一〇、一〇〇
歳出
第一款　神社費　一、一〇、一〇〇
第二款　州會費　一、一〇、一〇〇
第三款　職員費　一、一〇、一〇〇
第四款　旅費　一、一〇、一〇〇
第五款　庁舍費　一、一〇、一〇〇
第六款　修繕費　一、一〇、一〇〇
第七款　諸費　一、一〇、一〇〇
第八款　備品費　一、一〇、一〇〇
第九款　賠償及救助費　一、一〇、一〇〇
第十款　雜支出金　一、一〇、一〇〇
第十一款　諸支出金　一、一〇、一〇〇
第十二款　財產費　一、一〇、一〇〇
第十三款　公債費　一、一〇、一〇〇
第十四款　社會事業費　一、一〇、一〇〇
第十五款　土木費　一、一〇、一〇〇
第十六款　警察費　一、一〇、一〇〇
第十七款　防空費　一、一〇、一〇〇
第十八款　軍事扶助費　一、一〇、一〇〇
第十九款　豫備費　一、一〇、一〇〇
歳出經常部計　一、一〇、一〇〇
歳出臨時部計　一、一〇、一〇〇
歳出合計　一、一〇、一〇〇

臺中州會
第二日目
奥田議長鮮に捌く
『皇民化』の文字使用
又復論爭の種に

【臺中電話】臺中州會二日目（二十八日）は前日に引續き午前十時より昭和十五年度歳入歳出豫算第一讀會を開會、先づ議長から同豫算は會期中に調査を遂げ、委員會を設けて審議したいと諮つた、王委員長は豫算調査に當り、一般の意見を聽取し、慎重に審議を盡したいと述べ、次で各委員の質疑があつた、王委員長、豫算審議